

建設の機械化

1995.1

No.539



◆巻頭言 新春に想う	長尾 満	1
◆特集・新しい技術開発の課題と展望		
建設省——21世紀を展望した建設技術研究開発のビジョンについて——	川嶋 直樹	3
建設機械化研究所——技術開発・導入をサポートします——	北川原 徹	5
国土開発技術研究センター	矢崎 侗	9
ダム技術センター	西田 穂積	14
土木研究センター	千田 昌平	17

グラビヤ——21世紀を目指した技術開発

ダム水源地環境整備センター	寺 蘭 勝 二・自 閑 茂 治	21
日本建設情報総合センター——情報化社会と情報提供サービス——	都 丸 徳 治	26
先端建設技術センター——新技術の普及——	佐々木 康	29
駐車場整備推進機構——道路事業による駐車場整備の現状と課題——	榎 波 義 幸	33
道路保全技術センター——道路保全技術の動向——	勇 直 允	38
◆ずいそう 湧水に想う	田 村 正 秀	42
◆ずいそう 40年を顧みて	井 木 久 博	44
地下工事用固定式揚土・揚重機械（ツインクラムシェル）の開発	田 中 良 昌・清 水 洋	46
CE導入による施工改善について	吉 田 正・石 松 豊	51

JCMA

目 次



◆わが工場 川崎重工業 播州工場	浅田 正博	57
建設機械施工安全技術指針の策定	太田 宏	61
◆海外情報		64
◆新機種紹介	調査部会	66
◆文献調査 弱い岩盤におけるルーフボルトの問題点／リサイクル 事業用システム／機動性に優れたミリングマシン	文献調査委員会	73
◆整備技術 ワイヤロープとドラムの知識	整備部会	75
◆統計 建設投資推計ほか	調査部会	82
行事一覧		83
編集後記	(杉山・和田・穴見)	88

◇表紙写真説明◇

凍結防止剤散布車
ESD 25-2 (4WD)、ホッパ蓋自動開閉装置付車
東洋運搬機株式会社

凍結防止剤散布車 ESD 25-2 (4WD) にホッパ蓋自動開閉装置を装着した。4WD 仕様車は、雪道や勾配の急な坂での作業が安全、迅速、確実に行える点で優れている。このような道路条件下にある山岳道路（写真例は高度 1,300 m、冬期気温 -20℃、積雪最大 1 m）での作業には最適である。高所、厳寒、強風下での作業だけに薬剤散布作業の容易化は一段と要望される。

なお、オプションとしてホッパを溶液タンクとする“薬液噴霧”や、夏場の“散水”などの作業にも利用できる。

<本機的主要仕様>

散布幅（切換え式）	3, 4, 5, 6, 7 m
散布量（切換え式）	20, 30, 40, 50, 70 g/m ²
作業速度	5~40 km/hr
全長	6,355 mm
全幅	2,219 mm
全高	3,005 mm
車両重量	5,680 kg
最大積載量	3,000 kg
乗車定員	2人
機関名称	6 BG 1 ディーゼル機関
機関出力	170 PS/3,000 rpm
作業装置形式	車速同調、散布量自動制御式
ホッパ容量	2.5 m ³
ホッパ構造	密閉式逆梯形断面
薬剤引出し方法	スクリュューフィーダ式